

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
コミュニケーション技術Ⅲ Communication skills Ⅲ		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択 (介護福祉士養成課程 必修)	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
コミュニケーション技術Ⅰ				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
森 千佐子	福祉棟2F	月・水・金曜日 (授業時間を除く)	授業中に指示します	
授業の概要				
「コミュニケーション技術Ⅲ」では、実習における利用者とのコミュニケーションを振り返り、自己のコミュニケーションの傾向について分析・評価する。また、コミュニケーション障害について理解したうえで、事例から利用者の特性に応じたコミュニケーションの実際を学ぶ。さらに、介護におけるチームのコミュニケーションに必要な技術について習得する。				
授業の到達目標				
①プロセスレコードを活用し、自己のコミュニケーション技術が向上できるようにする。 ②コミュニケーション障害について理解できるようにする。 ③利用者の特性に応じたコミュニケーションの留意点について理解できるようにする。 ④介護におけるチームのコミュニケーション技術を習得できるようにする。				
授業の方法				
基礎実習Ⅰで作成したプロセスレコードをもとに、自己のコミュニケーションについて分析・評価をし、自己の傾向について考察を深める。コミュニケーション障害の事例をもとに、ロールプレイやグループディスカッションを行い、実習での体験も踏まえ、利用者の特性に応じたコミュニケーションについて考える。				
学習の成果				
①プロセスレコードから、自己のコミュニケーションについて分析・評価し、自己の傾向および改善点に気づくことができる。 ②コミュニケーション障害の原因と特徴について説明することができる。 ③利用者の特性に応じたコミュニケーションの留意点について、説明することができる。 ④介護におけるチームのコミュニケーションの必要性について、説明することができる。 ⑤介護における記録と報告の留意点を列挙することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス (授業概要と進め方・成績評価の方法など) 実習でのコミュニケーションの振り返り (基礎実習Ⅰで作成したプロセスレコードを提出)			
第2回目	プロセスレコードの考察① 【演習】			
第3回目	プロセスレコードの考察② 【演習とまとめ】 (プロセスレコードの分析・評価を提出)			
第4回目	コミュニケーション障害の理解 コミュニケーション障害のある利用者への対応			
第5回目	利用者の特性に応じたコミュニケーションの実際① 高次脳機能障害			
第6回目	利用者の特性に応じたコミュニケーションの実際② 失語症			

第7回目	利用者の特性に応じたコミュニケーションの実際③ 構音障害		
第8回目	利用者の特性に応じたコミュニケーションの実際④ 認知症		
第9回目	利用者の特性に応じたコミュニケーションの実際⑤ 視力障害、聴力障害		
第10回目	利用者の特性に応じたコミュニケーションの実際⑥ 知的障害		
第11回目	利用者の特性に応じたコミュニケーションの実際⑦ 精神障害		
第12回目	介護におけるチームのコミュニケーション① チームのコミュニケーションとは、介護における記録		
第13回目	介護におけるチームのコミュニケーション② 報告・連絡・相談 【演習】		
第14回目	介護におけるチームのコミュニケーション③ チームにおける会議		
第15回目	まとめと試験		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		10%	以下の視点で評価する。教材を準備して授業に臨み、必要なことはノートにとり、わからないことは質問すること。また、演習に積極的に参加し、他者の意見を十分に聴き自己の意見を述べ、学びを共有すること。
レポート		30%	基礎実習Ⅰで作成したプロセスレコードを分析、評価する。S評価のレポートは、再構成の目的が明確であり、場面がわかりやすいこと、自己のコミュニケーションの傾向および改善点について深く考察していること。
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験		60%	穴埋め、記述、文章の正誤を判断する問題等により、知識の確認をする。
発表内容 (態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
教科書：新・介護福祉士養成講座 第5巻「コミュニケーション技術」 中央法規出版 (コミュニケーション技術Ⅰと同じ)			
履修上の心得・ルール			
講義・演習に積極的に参加し、学びを共有してほしい。基礎実習Ⅰで作成したプロセスレコードを使用するため、実習日誌提出前に、コピーをとり、初回授業で提出すること。机上に携帯電話、飲み物など教材以外のものを置くことは禁止する。やむを得ず欠席する場合は、必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。			